

平成20年4月新城市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成20年4月25日（金） 午後1時27分

2 場 所 新城市勤労青少年ホーム研修室B

3 出席者 中根 正介委員長、馬場 順一職務代理委員、川口 保子委員、
菅沼 昌人委員、和田 守功教育長

4 委員以外の出席者

教育部長	夏目 勝雄	副部長兼庶務課長	今泉 敏彦
学校教育課長	浅倉 芳包	生涯学習課長	滝下 一美
文化課長	村田 道博	スポーツ課長	小倉 君夫

5 議事

日程第1 前回会議録の承認

平成20年3月教育委員会定例会会議録

日程第2 教育長報告

日程第3 協議・報告事項

(1) 学校再配置指針の検討

(2) 平成20年度各課の事務分掌及び主な事業について

(3) その他

日程第4 その他

終了後、児童クラブを視察

6 審議の経過及び結果

日程第1 前回会議録の承認

中根委員長から平成20年3月教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定

日程第2 教育長報告

和田教育長から次の報告を行う。

(1) 4月の動き

(2) 高等学校再編の中身にかかわる動向

(3) 合併3年目の社会教育関係の動向

日程第3 協議・報告事項

(1) 学校再配置指針の検討

(委員長) (1) 学校再配置指針の検討について、説明を求めます。

(教育部長) 今後の児童・生徒数の推移を見ると、大幅な減少がはっきりしており、

近い将来、学校の再配置が必要であると考えておりますが、明確な再配置指針はまだありません。今年度中には、きちんとした統合指針を出していきたいと考えます。そこで本年度は、P T A会長をメンバーに、「学校再配置研究会」を立ち上げ、検討会を通して、あるべき学校の配置等について、ご意見をいただき、指針をまとめていきたいと思っております。

(委員長) 先生方は入っていませんか。

(教育部長) 過去にもこうした趣旨で研究会が結成された経緯があり、先生方もメンバーに入っていたのですが、結果、案は出されず、保護者のアンケート結果を分析したにとどまっています。先生方は、自分たちの学校の将来のあり方についての意見が出しづらいついようなことも聞いていますので、今回は含んでいません。

(委員長) いきなり再配置ではなく、統合以外にやり方はないのかという議論をしていただくことから始めたほうがいいのではないですか。

(教育部長) 教育委員会独自に、どこにも相談することなく案を出すことはできませんので、子供を学校に行かせている親の代表をメンバーとして、将来の学校のあるべき姿について意見を聴き、そこから一つの方向が導き出せるであろうということです。

(委員) この問題はいつまでも先送りしているべきではありません。本当に改革に結びつける組織にしてやっていくことが必要と思っております。

(委員) P T A総会で、会員により会長が選ばれますので、それなりの代表権を持っていると思っております。

(委員) P T Aの会長を委員にすることに何ら異議はありませんが、果たしてそれだけでいいのでしょうか。

(教育部長) 広く意見を求める場合、いろいろな意見が出て、一つの考えに集約するのが難しいのではないかと思います。そこで、何らかのたたき台をつくるためにも、まず手順として保護者の意見が必要と思っております。

(委員長) 今の状況が、本当に子供にとっていいのかという説明、ほかに方法はないかということも併せて議論しないと、その次へ発展しないのではないかと懸念します。

(教育部長) 保護者の少なくとも過半数は、何らかの方法で統合すべきだという意見が得られると、私は見込んでいます。

(委員) まずは、何か行動を起こさないことには結論も出ませんので、教育委員会あるいは部長から主旨を説明し、まずはやってみて、やりながら必要なものは追加するなど、臨機に対応したらどうですか。

(委員長) とりあえずP T Aの皆さんにご意見をうかがうことから始め、そこをベースに「研究会」という組織にすればいいかと思います。

(委員) とにかく動き出さなくてははいけませんので、P T Aの会長の集まりを早速やってみてもらってください。

担当課長から、次の事項について、説明等があった。

- (2) 平成20年度各課の事務分掌及び主な事業について
庶務課のみ（他課については次回）
- (3) その他

日程第4 その他

—事務局から次回定例会日程を提案し、委員の承認を得る—
5月定例教育委員会日程
日時：5月28日（水）午後3時30分
場所：勤労青少年ホーム

7 閉会宣言 平成20年4月25日（金） 午後2時55分

終了後、市内2児童クラブを訪問視察